

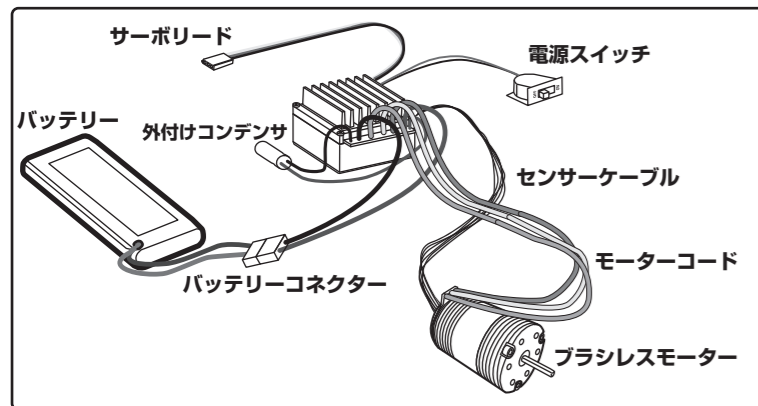
このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。BLZ-350は、センサー付きおよびセンサーレスのブラシレスモーターに対応するモーターコントローラーです。ご使用になるモーターやその他周辺機器との組み合わせを適切にすることで、最大の性能を発揮します。ご使用に当たっては、この取り扱い説明書をよくご覧になり、最適な環境でご使用ください。また、この取扱説明書は、いつでも参照できるように保管してください。なお、ラジコン模型の性質上ご使用になった結果についてはお客様の責任となります。あらかじめご承知ください。

## スペック

- ケースサイズ：35.3X31.3X21.8mm（ヒートシンク含む）
- 最大出力：65A / 瞬間 260A ● 出力：35A
- BEC 出力：6V2A ● セットアップ方法：オートセットアップ
- 動作モード：前進 / ブレーキ / バック
- 入力電圧：6V～7.4V
- 対応バッテリー：Ni-Mh/Ni-cd 6セル LiPo/LiFe 2セル
- 対応モーター：9.5T 以上 / 3900KV 以下（センサー付ブラシレスモーター） / 10.5T 以上 / 3500KV 以下（センサーなしブラシレスモーター）

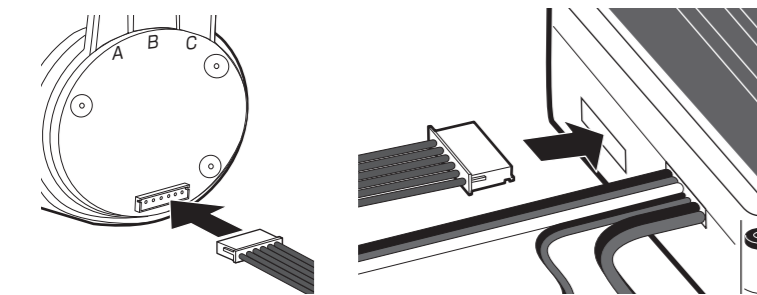
※設定内容は、BLZ プログラマーを使用することにより変更することが可能。（ただし、電気進角（タイミング）については、本製品は固定モデルのため変更はできません。）

## 各部名称および接続方法



- センサー付きブラシレスモーターの場合  
3本のモーターコードとセンサーケーブルをしっかりと接続します。
- センサーレスブラシレスモーターの場合  
3本のモーターコードをしっかりと接続します。

### センサーケーブルの接続



※センサーケーブルの向きに注意してモーター側とESC側に差し込みます。向きを間違えた状態で無理に押し込もうとするとコネクタが破損しますので注意してください。

## 送信機の設定確認

本機は、自動でニュートラル設定を行ないますので、使用する送信機のスロットルの設定を標準に戻しておく必要があります。

- 前進側及びバック側の舵角設定（スロットルハイポイントとブレーキポイント）は、100%に戻します。
- スロットルのトリム、サブトリムはセンター位置（0）に戻します。
- ABS、スロットルスピードなどのスロットル側のファンクションは、すべてOFFにします。
- 設定がよく判らない場合には、送信機のモデルリセットを行ってください。

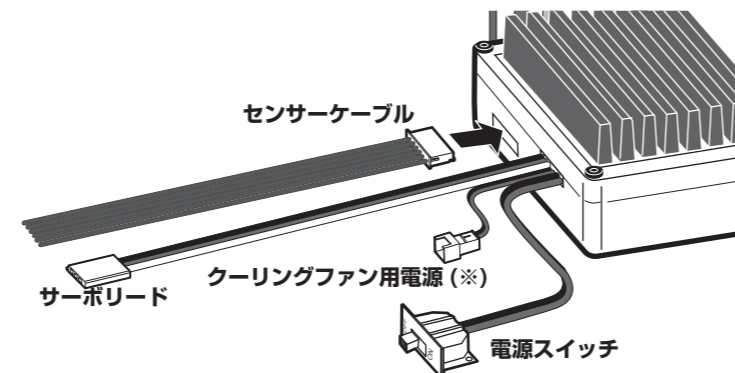
※送信機側が標準状態と大きく異なる状態では、モーターが回転しなかったり、最高回転数に達しないなどの不都合が発生することがあります。→トラブルシューティングをご覧ください。

※オートセットアップ後、動作によっては送信機側のリバーススイッチを操作して再度電源を入れ直す必要があります。

## 取扱上の注意

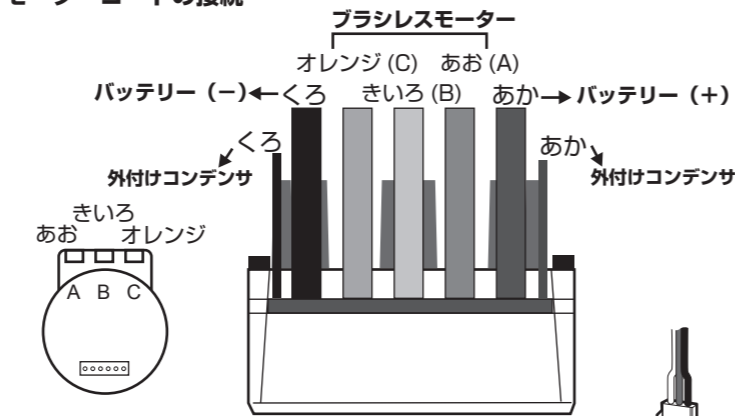
**警告!** ○この製品は地上用RC模型を対象に製造、販売されています。○受信機とサーボ、ESCの接続は確実に。○雷の鳴っているところ、雨天時や水溜りのあるところでは走行させない。○疲労、飲酒、服薬により集中力に支障を来す時には使用しない。○乳幼児の手の届かないところに保管する。○使用しないときはバッテリーを外す。○道路や人の多い場所で走行しない。

**注意!** ○バッテリーの極性を間違えないように十分に注意する。○接続機器、オプションパーツは弊社純正品を使用する。○電源を入れるときは送信機→受信機、切るときは受信機→送信機の順に行う。○走行後、モーター、バッテリー、ESCなどの発熱に注意する。○バッテリーコード、モーターワイヤーなど、各コード類はショートさせない。○セットアップ時にはモーターピニオンをはずす。○雨水や海水でぬれた場合は直ちに使用を中止し、修理に出す。○製品には角張った部分や、とがった部分がありますので、十分注意する。○製品の分解・改造は、ショートその他の事故の原因となり修理の受付をお断りする場合があります。



※No.41005 BLZ クーリングファンは別途お買い求めください。

### モーターコードの接続



### サーボリードの接続

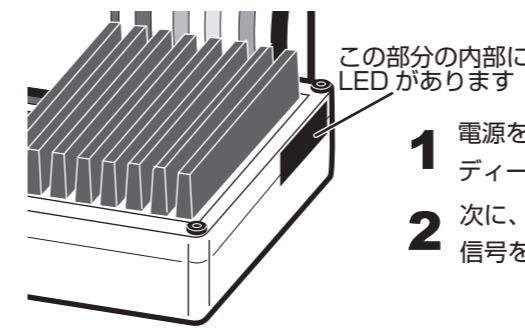
- サーボリードを受信機のスロットルチャンネル（通常チャンネル2）に接続します。

スロットルチャンネル  
（チャンネル2）

**バッテリーを接続する** 工場出荷時の設定では、バッテリーはリポバッテリーが選択されています。これ以外のバッテリーを使用する場合には、BLZ プログラマー（別売）を使用して設定を変更してください。電源スイッチがOFFであることを確認してから、バッテリーコネクタにバッテリーを接続します。

**電源スイッチをONにする** 送信機側の電源スイッチをいれて、送信機側が動作していることを確認してから本機の電源スイッチをONにします。電源スイッチをONにすると本機は次のような動作を行いオートセットアップを行ないます。

※電源スイッチを入れる際には送信機のスロットルは操作しないでください。自動設定が正しく動きません。



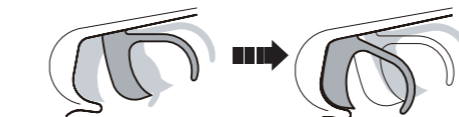
左図の位置、本体の側面内部にLEDランプがあり、動作中に点灯します。LEDは3個あり、緑色、赤色、緑色の順に並んでいます。

- 1 電源を入れると両側の緑色が点灯して、モーターから音程が上がるメロディーが流れます。
- 2 次に、緑色の2つが交互に点滅します。この時、ESCは受信機からの信号を確認しています。  
※この時間は周囲の環境など条件により時間がかかる場合があります。あまり時間がかかる場合には、一旦電源を切って再度お試しください。
- 3 自動認識が終わると、音程が下がるメロディーが流れて、緑色に加えて赤色が点灯してその後消灯します。

これで自動認識が終了です。

## 動作を確認する。

前進側の動作の確認



スロットルを前進側に操作するとモーターが回り始め、LEDの右側の緑色が消灯し、真ん中の赤色がゆっくりとした点滅を開始します。赤色のLEDはスロットルの開度に比例して点滅が速くなり、フルになると赤色のLEDが完全に点灯します。

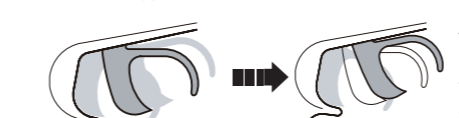
→赤色のLEDが点灯しない場合には、トラブルシューティング(1)を御覧ください。

→完全に点灯しない場合にはトラブルシューティング(3)を御覧ください。

※後進の操作について

前進側またはニュートラルから後進側に操作すると最初はブレーキが掛かります。（この時LEDはニュートラルと同じ点灯です。）もう一度、ニュートラルに戻してから後進側に操作することで後進（モーターが回転）します。

後進側の動作の確認



スロットルを後進側に操作するとモーターが回り始め、LEDの右側の緑色が一度消灯し、ゆっくりとした点滅を開始します。スロットルがフルバックになるとこのLEDが完全に点灯します。

→完全に点灯しない場合にはトラブルシューティング(3)を御覧ください。

## トラブルシューティング

### (1) 前進側の操作で赤色のLEDが点灯しない。（右側の緑色が点滅する）

一度すべての電源をOFFにし、送信機のリバーススイッチの設定を変更してから再度電源を入れます。

### (2) LEDは正常だが、モーターの回転が逆回転で、前進操作でバックしてしまう。

モーターコネクタのオレンジと青を入れ替えてから、再度試してください。  
※但し、この方法はセンサーレスモーターの場合のみに有効です。

### (3) 前進側の操作で赤色のLEDが完全に点灯しない。（点滅したまま） 後進側の操作で右側の緑色のLEDが完全に点灯しない。（点滅したまま）

送信機により、HiPOINT、BrakePointが異なるため、LEDが完全に点灯しない場合があります。その場合は送信機側のHiPoint、BrakePointを数値を多く設定することで完全に点灯させることが出来ます。送信機によって異なりますが、1コマずつ調整を行ってください。

### (4) 赤のLEDと右の緑色のLEDが交互に点滅を繰り返して送信機の操作に反応しない。

何らかの原因により、受信機が送信機の電波を受信していません。送信機とESCの電源スイッチを再度入れなおして下さい。

## 修理・お問い合わせ

最新情報はウェブサイト

<http://www.kopropro.co.jp>

### ○故障かな…と思ったら

もう一度、この説明書を御覧になってお調べ下さい。わからない場合、弊社ウェブサイトのサポートページもご覧ください。さらに解決しない場合には、当社サービス部へお問い合わせ下さい。ご相談の際は故障の状況を出来るだけ詳しくお知らせ下さい。

### ○修理を依頼される時は、下記の内容を同梱して送付下さい。

- お使いの車種、RCメカ、モーターやバッテリー
- 故障したときの使用状況と故障の内容、状況
- お客様の住所、お名前、ご連絡先

- 修理を送る際の送料については、ご負担願います。
- 修理代金は、原則として、返送荷物と同梱される郵便振替用紙でのお支払いをお願いします。

**KO PROPO 近藤科学株式会社 サービス部**

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-17-7

TEL:03-3807-7648 受付時間:月～金曜日(祝祭日を除く)  
9:00～12:00、13:00～17:00